

奥多摩の滝廻り 海沢探勝路から大岳山

実施日 2010年5月29日(土)

天候 曇り/小雨

リーダー 鈴木 政三

参加者 西山正巳、馬場清士、福島政幸、
大村巖、鈴木政三、石附智江
遠井謙策、伊藤久雄、石原勝正、
柴田政春 計 10名

費用 立川駅起算、1,810円(ケーブル
570円含む)

タイム 白丸駅(8:50~9:20)魚養殖センター
(9:25~9:45)海沢隧道(10:25)海
沢園地(10:35~11:05)大滝
(11:10~11:45)若宮沢出合
(12:05~13:40)主尾根
(14:45~14:05)大岳山
(14:25~15:15)芥場峠
(15:20~15:40)綾広の滝
(15:45~16:05)長尾平(16:25)ケ
ブルカー上駅(16:42~16:55)下駅

すっきりしない天候でのスタート。白丸駅で雨具を着け数馬峠橋を渡り対岸の遊歩道を行き、白丸発電所下から魚養殖センター前に入る。



林道海沢線に入りキャンプ場の脇を上流に進み、海沢隧道を抜け坂本橋を渡る。

この付近から海沢は溪谷美を見せる。やがて左岸の木の中に滝を見る、きれいな滝である。

林道がヘアピンカーブする地点で海沢探勝路に入る。丸太を渡り左岸を進むとすぐ三つ釜の滝、名前の通りの滝である。滝脇の階段を登り滝上に出る、ネジレの滝に降りる鉄階段が沢側に見えるが、沢は滑りやすいので今回は巻いて大滝に向かう。

大滝は落差、水量とも申し分のない豪快な滝である。尾根筋に戻り高度を上げていき、一時遠ざかっていた沢音が近づきワサビ田のある沢に降りる。



昼食をとり右岸に渡りワサビ田を眺めながら登る。所々荒れているがルートは確りしている。尾根への取り付

き地点も確りした道標があり迷うことはなかった。かなりきつい登りが続き、尾根直下は急斜面で荒れており滑る。虎ロープが張ってありそれを補助(すり減っていたので一人ずつ)にして登る。

尾根にでると歩きやすい平坦な道、主縦走路に突

き当たる。いきなり賑やかな人の声、縦走路からひと登りで大岳山頂である。曇っていて



展望はない。ここまで時間がかかり過ぎたので、下りは七代の滝は止めて大岳神社～芥場峠～綾広の滝の往復～ケーブルカー駅に変更した。

綾広の滝は神秘的な雰囲気のある滝である。体力の有り余る人達はケーブルカーに乗らずにケーブル下まで歩いて行った。

生憎の天気でもルートの一部をカットしました。滑りやすい所はありましたがルートは想定していたより確りしていた。滑りやすい所は念のためロープで補助した方が良かったかもしれません。悪天候での山行でしたが皆さん有難うございました。

(記・鈴木 政三)

(写真提供・馬場 清士)